



春日小だより

平成23年12月1日
練馬区立春日小学校
校長 菊岡 紀子
学校通信 12月号



春日の秋は、個性煌めく芸術の秋

副校長 小瀧 隆雄

狂言体験 「野村万作の会」をお迎えして

「狂言の神髄は、おもしろいことを真面目にやる！」

過日、6年生の狂言体験教室で、講師の深田博治先生・高野和憲先生から教わった一言に「なるほど」と、うなずく子供たち。それまでは、講師の先生のおもしろい演技に笑ったり、照れたりして上手く演じきれなかった6年生。この言葉を受けて、真面目に「キノコ」になって動き回ったり、「盆山」という演目の一場面を演じたりしながら、日本の伝統芸能「狂言」を体験しました。

「狂言師は、表情を作るだけでなく声の高さや大きさも調整していて、全然飽きなかった。」「何もなかった体育館に「盆山」や堀が見えてびっくりした」「題材が自分もしそうな失敗で分かりやすかった」「面白かった」「別の話を観たい」「いつまでも続けてほしい」子供たちは、狂言の面白さ・素晴らしさを感じ取ることができました。貴重な体験を与えてくださった「万作の会」の皆様、ありがとうございました。



文化センターに響き渡る 5年生の歌声・演奏

11月1日、練馬文化センターで開かれた連合音楽会。3年毎に出演となる今年、春日小の5年生は、合唱「野空海」・合奏「ダットン人のおどり」の2曲を披露しました。連日、休み時間や放課後まで練習した努力が実って、素晴らしい合唱・演奏となりました。

13日のミニコンサートでは、上記2曲を披露してくれました。1学年36名の少人数ながら、気持ちの入った演奏で「美しい歌声に涙が溢れた」「演奏は圧巻！素晴らしかった」など多数の温かなご感想が寄せられました。

小さな音楽家 大活躍

「音楽で心をつなごう」のテーマの下、開催されたミニコンサート。小さな音楽家たちが大活躍しました。今年は、歌だけでなく合奏にも取り組んだ子供たち。各クラスの合唱・演奏後、学年合同の演奏という流れで学年順に披露しました。

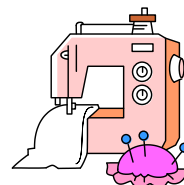
「一生懸命頑張る姿に感動した」「素直に音楽を楽しんでいる」「子供が司会や指揮、ピアノを担当して、子供が主役のコンサートだった」「どの学年もよさが表れた素



晴らしいコンサートだった」「学年が上がるにつれ、レベルが上がっていき、感動した」「団結力を感じた」「成長を感じた」「担任と一緒に演奏してうれしかった」などの声をいただきました。みんなで作り上げた充実のコンサート。音楽で心がつながり、子供たちも満足感を味わった一時でした。係のご協力もありがとうございました。

個性溢れる 作品展

11月13日から25日まで開催されていた作品展は、訪れる人を魅了する素敵な作品で溢れていました。



5・6年生の家庭科作品では、少ない時間の中で、自分でデザインを考え、作品を仕上げることができました。初めはできなかったのに、いつの間にか上手に縫えるようになり、友達に優しく教えている男の子の姿も・・・。「とても素敵な作品にできた」と成就感を味わっていました。

図工の作品はどの学年も圧巻で、校内は素敵なギャラリーと化した春日小。「それぞれのよさが溢れる作品に、感動した」「思った以上に素晴らしいできばえ」と作品に感動する声が多数寄せられました。また、「展示の仕方に工夫があり、素晴らしかった」「豊かな感性が育っている」「子供のよさを最大限に引き出してくれた」と指導や支援に感謝を表す声も多く見られ、ありがたく思います。

図工の清水教諭が作品の作り方を説明すると、目を爛々と輝かせて「やりたい」と意欲をかき立てる子供たち。発達段階を考えた創意溢れる作品選びと子供のやる気を引き出す声かけも、芸術だと感心しました。子供と先生が織りなす無二の作品展。素晴らしかったです。

子供たちの個性が煌めいた春日の秋。一生懸命に取り組んだ秋。大きく成長することができました。実り多きこの日々を、さらなる成長につなげていきたいです。



11月25日、練馬区教育委員会教育課題研究指定校としての研究発表会では、係のご協力ありがとうございました。おかげさまで愛媛県をはじめ多方面から約200名の参加者をお迎えし、盛大に開催することができました。今後も、算数・理科を通した授業改善を続け、学力向上に努めていきます。